

## 競争入札におけるくじ引き方法について

入札において、同価格の者が2者以上あるときの「くじ引き」による決定方法を以下のとおり定めます。

### 1. 郵便入札におけるくじ引き

郵便入札において同価格の入札をした者が2者以上ある場合は、次の方法により落札者を決定します。入札参加者は、入札書に「3桁の任意のくじ番号」を記入して提出してください。

これは、大学が介入できない数字を用いて公平に抽選するものです

- ①入札書に記載されたくじ番号（入札者が任意で書き込んだもの）を用いる。
  - ②入札参加表明書に記載されている電話番号下4桁の昇順に0から番号を割り当てる。
  - ③くじ番号の合計÷同額入札者数の余りを求める。
  - ④余りと一致する割り当て番号の者を落札者とする。
- ※くじ番号の記載がない又は不明瞭な場合は、「000」を割り当てる。

（例）同額入札 3 社の場合

〔落札者の決定方法〕

業者名	くじ番号	電話番号	割り当て番号	結果
A 社	0 2 3	*** -*** - 1 2 4 5	1	
B 社	1 2 9	*** -*** - 8 5 0 2	2	落札
C 社	4 6 8	*** -*** - 1 1 2 0	0	
合計	6 2 0			

（くじ番号の合計）を同額入札者数で除し、余りを算出する

余りを当選番号とし、一致する割り当て番号の入札者を落札者とする。

$$6 \ 2 \ 0 / 3 = \text{余り } 2$$

〔順位の決定方法〕

1 位：余りと一致する割り当て番号の者

2 位：順位が決まった者を除き、残りのくじ対象者で③の計算を繰り返す。

該当する抽選番号がない場合は、「0」を2位とする

## 2. 入札参加者が立ち会う場合のくじ引き

入札参加者が参集し、自ら入札書を投函して開札に立ち会う場合において、同価格の入札をした者が2人以上ある場合は、次の手順によりくじ引きを行います。

- ①抽選箱にくじ対象者の社名を明記した「くじ用紙」を入れます。
- ②開札立会人が、①のくじを引き、③のくじ引きの順番を決めます。  
又は、同価格の者同士がじゃんけんをして、くじの順番を決めます。
- ③②で決まった順に、くじ対象者がくじを引きます。
- ④「決定」の表示があるくじを引いた者が落札者となります。